

1-2

パーソナルコンピュータ

ここでは、コンピュータの構成要素、データの流れ、パソコンの種類や形態について学習します。

1-2-1 コンピュータの構成要素 (5大要素)

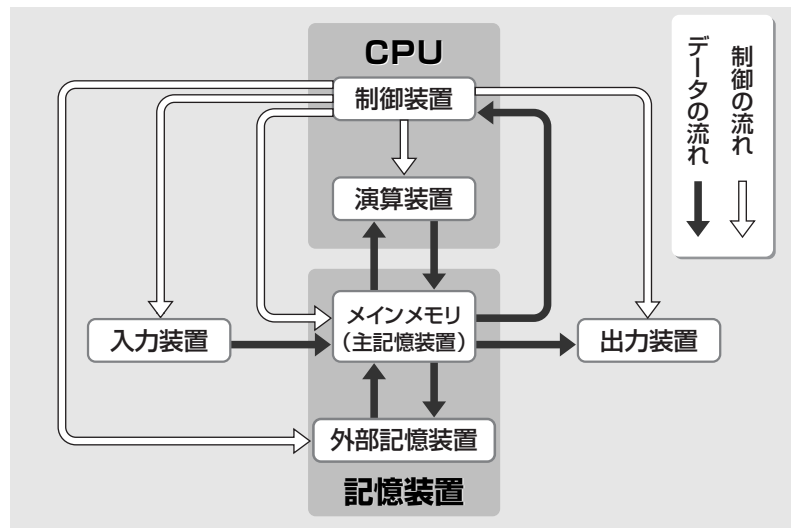
コンピュータは、主に次の5つの要素から構成されています。パソコンの場合も同様です。

装置	機能
制御装置	プログラムを解釈し、各装置に命令を出す。
演算装置	命令に従って計算や処理を行う。制御装置と演算装置を合わせて「CPU」という。
記憶装置	プログラムやデータを記憶したり保存したりする。「主記憶装置」と「外部記憶装置」に分かれる。
入力装置	データを取り込み、メインメモリに渡す。キーボードやマウスなどがある。
出力装置	メインメモリのデータを出力する。プリンタやディスプレイなどがある。

参考

主記憶装置
「メインメモリ」ともいわれる。

●装置間でのデータや制御の流れ

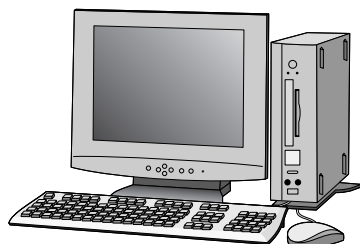


- 制御装置
- 演算装置
- 記憶装置
- 入力装置
- 出力装置

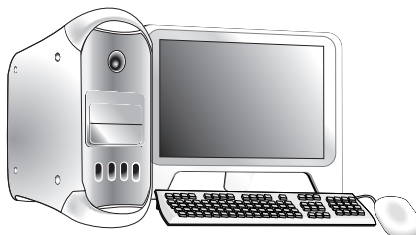
1-2-2 パソコンの種類

パソコンは、メーカーや規格などの違いによっていくつかの種類に分けられます。現在使用されているパソコンには、次のような種類があります。

種類	説明
PC/AT互換機	アイビーエム社で開発されたパソコンを「PC/AT」といい、このPC/ATの仕様をもとに各メーカーが開発したパソコンの総称。現在、多くのメーカーから、PC/AT互換機が販売されている。
Macintosh	アップルコンピュータ社が開発したパソコンの総称。



PC/AT互換機

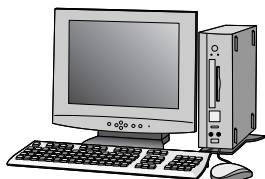


Macintosh

1-2-3 パソコンの形態

パソコンには本体の形態や大きさによって、いくつかの種類があります。主なパソコンの形態は、次のとおりです。

形態	特徴
デスクトップコンピュータ	基本的にディスプレイと本体が別になり、電源が必要なため設置場所が固定される。本体が縦置き型で比較的大きなものを「タワー型」、本体が薄く場所をとらないものを「省スペース型」、本体とディスプレイがひとつにまとまったものを「一体型」という。
ノートパソコン(ラップトップコンピュータ)	キーボードとディスプレイが一体化しており、ノートのように折りたたんで使用できるパソコン。軽量、小型なので持ち運びが容易。内蔵バッテリーで動かせるので、電源コンセントのない場所でも使用できる。
携帯情報端末	携帯して持ち歩けることを重視して、ノート型よりさらに小型化した手のひらサイズのパソコン。主に個人情報管理に利用され、「PDA」または「PDA」ともいわれる。



デスクトップコンピュータ



ノートパソコン



PDA



- パソコンの種類
- PC/AT 互換機
- Macintosh

参考

オールインワンパソコン
ディスプレイやキーボードなどの主要な周辺機器が付属しOSやよく使用されるアプリケーションソフトもいくつかインストールされているパソコン。

参考

ラップトップ
ひざの上で使用するという意味。

参考

PDA
「Personal Digital Assistants」の略称。



- パソコンの形態
- デスクトップコンピュータ
- ノートパソコン
- PDA